

消融雪施設点検業務委託 特記仕様書

平成 22 年 7 月 30 日制定
令和 4 年 1 月 5 日改訂

第 1 条 適用

本業務の実施にあたっては、契約書、設計図書、本特記仕様書ならびに「道路管理等業務委託標準仕様書(共通編)」(以下「標準仕様書」という。)によるものとする。

第 2 条 業務の目的

本業務は、降雪期前に消融雪施設の正常な動作を確認するため、施設の点検及び調整業務を行うものである。

第 3 条 業務の内容

糸魚川地域整備部で維持管理している国道、主要地方道、一般県道の消融雪施設のうち、別途設計図書に定める施設において、下記項目の点検・調整業務を行う。

(1) 消雪パイプ点検・調整 (ノズル調整)

- ・散水施設のドレーンを開放し制御盤のスイッチを入れ、散水管内のスケール、排砂等の排出を行う。
- ・排出作業完了後ノズルの散水孔の目詰まり除去や水量のバラツキの調整などを行い、効果的な散水が維持できるようにする。
- ・散水量の調整の際にノズル、ドレーン、保護コンクリート、排水状況についてよく観察をする。

(2) ポンプ及び電気設備の点検

- ・ポンプ・電気設備の点検は、取水ポンプ、制御盤、降雪検知器、電柱設備について実施する。
- ・主な項目は、「散水消雪施設設計施工・維持管理マニュアル(H20 年 8 月)」4. 3 項(P215)および「消融雪設備点検・整備ハンドブック (H30 年 7 月)」を参照のこと。

第 4 条 成果品

- ・点検調書(発注者から提供する)
- ・その他監督員の指示するもの(別紙 1 参照)

第 5 条 その他

- ・点検の実施及び評価・判定の際には、「消融雪設備点検・整備ハンドブック(平成 30 年 8 月)」を参考とすること。
- ・その他疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

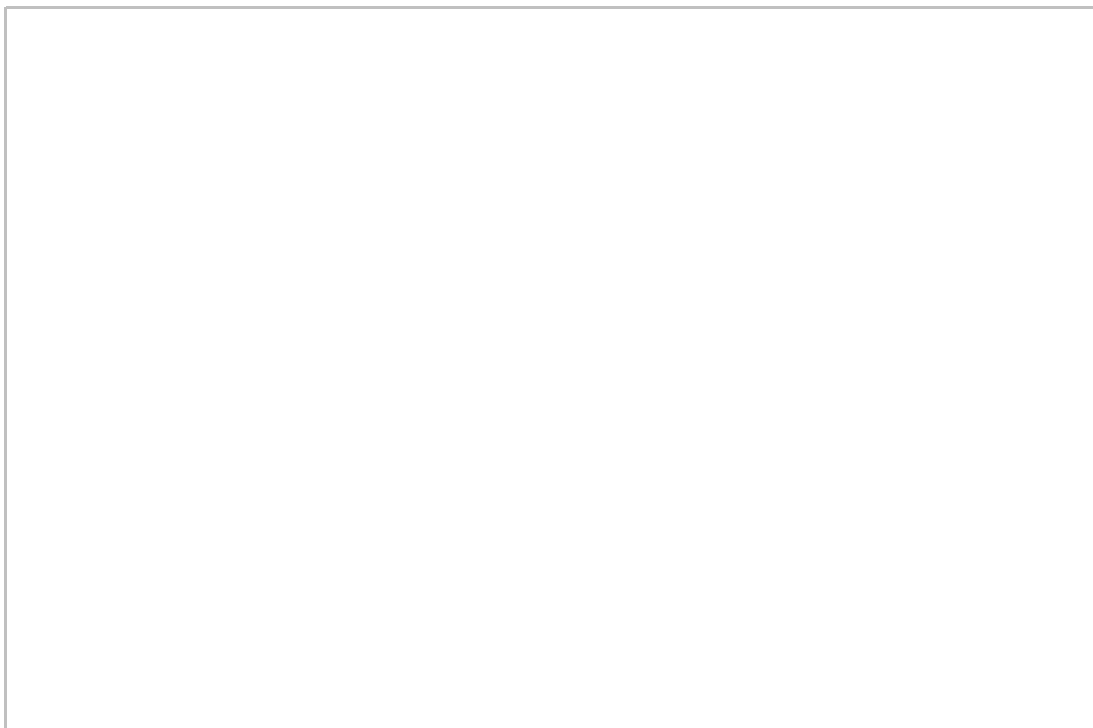
[別紙 1]

1. 状況写真

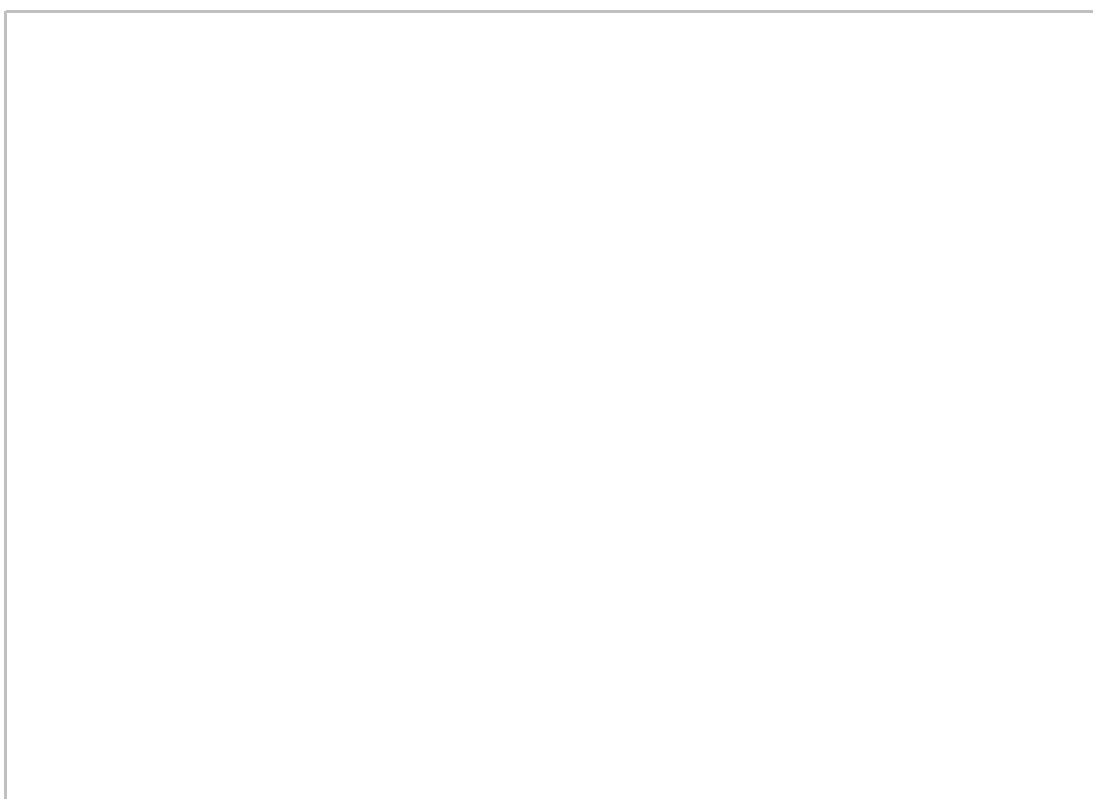
- ・ 着手前、竣工時、制御盤点検中、作業中写真を1施設毎に撮影し提出すること。
- ・ 着手前、竣工写真はノズル調整前後の散水状況、施設点検状況がわかるものとする。
また、作業中写真は、交通誘導員の使用（配置）状況がわかるものとする。

2. その他監督員の指示によるもの

- ・ 施設に破損が生じて修繕などが必要な場合は、直ちに「所見記入用紙」に記入し、修繕方法とともに監督員に提出し、指示を仰ぐこととする。
- ・ 次年度以降の補修工事の参考とするため、消雪パイプ点検一覧表を作成し監督員に提出すること。
- ・ 点検時の散水施設（メインパイプ）の延長を確認し、消雪パイプ台帳調査一覧表と相違がある場合は監督員に報告すること。



着 手 前



完 成

消雪パイプ点検調整

糸-第〇号

取水設備・制御盤・降雪検知器の点検

R8.〇〇.× ×

糸-第〇号

取水設備・制御盤・降雪検知器の点検

R8.〇〇.× ×

糸-第〇号

取水設備・制御盤・降雪検知器の点検

R8.〇〇.× ×

消雪パイプ点検調整

糸-第〇号

ドレーン排水による管内の砂
泥清掃

R8.〇〇.××

糸-第〇号

ノズル点検調整

R8.〇〇.××

糸-第〇号

ノズル点検調整

R8.〇〇.××

消雪パイプ点検調整

糸-第〇号

〇〇状況

糸-第〇号

〇〇状況

糸-第〇号

〇〇状況

【様式-1】消融雪施設点検調査書

施設 基本 情報	地域機関		
	施設番号		
	路線名(道路種別-路線名)	—	
	設置場所(住所:市町村名-一字名)	—	

確認項目		確認事項	点検結果			備考欄(点検時の所見等)	機能 良否 判定
			分類	前回	記入欄		
点検 情報	点検年度(西暦)		①				
	点検種別	※定期点検=降雪期前がデフォルト	②				
	点検業者名	(井戸、散水施設)	①				
		(取水設備、制御盤、降雪検知器)	①				
	施設全体機能良否判定	各部位の最低判定値を反映	⑤				
井戸	点検日(西暦)	記入例) 2022/4/1	①				
	自然水位m ※1 (小数点以下2桁)		③				
	運転水位m ※1 (小数点以下2桁)	運転水位の確認。適正水位・運転水位	③				
	適正揚水量L/min ※2 (整数)	揚水試験時に記録	③				
	適正揚水位m ※2 (小数点以下2桁)	揚水試験時に記録	③				
	揚砂・水量	揚砂がなく散水量が不足していないこと。	④				
	水温℃ ※2 (小数点以下1桁)	揚水試験時に記録	③				
	ポンプ室	ポンプ室・井戸蓋 損傷、ガタツキ、緩みが無いこと。 ポンプ室周り 陥没・沈下が無いこと。	④ ④				
取水 設備 (電気)	点検日(西暦)	記入例) 2022/4/1	①				
	電流計	運転時(測定値)A (小数点以下1桁)	③				
		待機時(測定値)A ※1 (小数点以下1桁)	③				
		状態	異常が無いこと(測定値・計器状態)	④			
	ポンプ本体(機械系統)の異常	絶縁抵抗値(測定値)MΩ (小数点以下1桁)	③				
絶縁抵抗値		絶縁抵抗 1.0MΩ 以上であること。	④				
水位リレー		破損がなく正常に作動すること。	④				
取水 設備 (配管)	点検日(西暦)	記入例) 2022/4/1	①				
	圧力計	運転時(測定値)Mpa (小数点以下2桁)	③				
		待機時(測定値)Mpa ※1 (小数点以下2桁)	③				
		状態	異常が無いこと(測定値・計器状態)	④			
	ポンプ	運転・振動・騒音状態	異常音、振動無く運転すること。	④			
地上部	配管・バルブ類	漏水・腐食・破損が無いこと。	④				
制御盤	点検日(西暦)	記入例) 2022/4/1	①				
	運転時間(h) (小数点以下1桁)		③				
	電圧計	通電時(測定値)V (整数)	電圧が±10%以内であること。	③			
		運転時(測定値)V (整数)	電圧が±10%以内であること。	③			
		状態	異常が無いこと(測定値・計器状態)	④			
	制御盤本体(機械系統)の異常	外観・内部	異常、損傷、腐食が無いこと。	④			
		3Eリレー	テストボタンにより作動すること。	④			
		電磁機器、その他機器状態	異常音の発生が無いこと。	④			
		漏電遮断機	テストボタンにより作動すること。	④			
	付属施設の異常	外観	腐食・破損が無いこと。	④			
降雪 検知器	点検日(西暦)	記入例) 2022/4/1	①				
	動作・感度	模擬やテストボタンにより作動すること。	④				
	検知部の状態	降雪に対して妨げられる物が無いこと。	④				
	外観	腐食・破損が無いこと。	④				
散水 設備	点検日(西暦)	記入例) 2022/4/1	①				
	ドレン排泥	滞りが少ない。ドレンが損傷していない。	④				
	漏水	漏水が無いこと。	④				
	ノズル	調整可能なこと。	④				
	保護コンクリート	クラック等の破損が無いこと。	④				
	道路排水状況	正常に排水されること。	④				

「分類」の説明
 点検結果を入力
 :入力箇所
 :入力箇所(定期点検時は必須)
 ①: 点検情報を記入
 ②: 点検種別を選択
 ③: 点検時の測定値を記入
 ④: 点検結果を選択
 ⑤: 自動入力

機能良否判定は下記による

点検結果	機能良否判定
A ○	全く問題が無い
B ○	良好(80%以上の機能を維持)
C △	異常傾向あり(85~80%の機能を保持)
D △	異常傾向あり(50~85%の機能を保持)
E ×	故障又は機能に支障あり(機能が50%未満に低下)

※1・・・異常時に必要に応じて測定する
 ※2・・・揚水試験時(洗浄前後の試験、簡易揚水試験含む)の結果を記録する

【様式-2】消融雪施設点検調書（損傷状況写真）

地域機関	
施設番号	
路線名	

概要	写真
	写真欄を追加する場合は、この部分をコピーして、下に貼り付けて下さい